

教科	本校児童の学力の実態	実態から身につけさせたい「確かな学力」	学年で取り組む具体的な方策	評価
国語	○国語の学習にすすんで取り組む児童が多い。 ○字を丁寧に書こうとする児童が多い。 ▲漢字の定着が十分でない児童がいる。 ▲人前ではっきりとした声で話すことに課題がある児童が多い。	・正しく漢字を使って文章を書く力 ・相手や場に合わせて話す力	・授業で書いた文章の、間違ったところを書き直しさせる。 ・漢字の宿題を計画的に出し、定着を図る。 ・宿題で毎週日記を書かせる。 ・多くの児童に発言させる授業を行う。 ・各教科で大勢の前で発表する機会の場を設定する。	
算数	○算数の学習にすすんで取り組む児童が多い。 ▲計算はできるが、文章を読んで理解することができない児童が多い。立式にも課題がある。	・文章を読んで理解し、課題解決する力	・児童の習熟度に合わせて算数クラスの編成をする。 ・授業では文章、図や半具体物、式を関連付けながら学習内容の定着を図る。 ・課題解決に向けて見当をつける経験を積ませたり、図を描かせたりすることにより、課題解決する力を身に付けさせる。 ・立式の根拠を説明させる活動を多く取り入れる。	
生活	○植物や動物、昆虫への興味・関心が高い児童が多い。 ▲自分を支えてくれている人たちの存在に気付いていない児童がいる。	・自分を支えてくれている人たちがいることに気づき、自分たちの生活をよりよくしようとする力	・地域の公共施設を見学する機会を設定し、そこで働く人や利用する人の思いを気付かせるようにする。 ・自分の成長を振り返り、成長を実感し、今後の自分の成長に期待をもたせる学習活動を行う。	
音楽	○歌、楽器の演奏など、意欲的に取り組む児童が多い。 ▲鑑賞に関する学習では、音の響きなどから感じ取ったことを言葉に表す力に個人差がみられる。	・音楽の楽しさを味わい、感じたことを表現する力	・音楽活動の制限が緩和されつつあるので、歌ったり演奏したりする機会を多くもつ。 ・音の響きから感じ取ったことを全体で共有し、多様な言葉での表し方獲得させる。	
図工	○様々な活動に意欲的に取り組む。 ○友達の作品を見てよいところを伝え合う活動にも意欲的に取り組む。 ▲手先の器用さについて課題のある児童がいる。	・与えられた時間をめいっぱい使い、楽しみながら作品を作ろうとする力	・よい作品を共有し、そのよさを明確にして自己の作品に生かせるようにする。 ・様々な図工の技法を経験させ、多様な表現方法に触れさせる。	
体育	○意欲的に運動あそびに取り組む児童が多い。 ○準備や片付けもすすんで行う児童が多い。 ▲苦手な運動に対して、怖がる児童がいる。	・苦手なことにも前向きに取り組もうとする力	・スモールステップを設定して、自信をもって運動遊びに取り組めるようにする。 ・よい動きを具体的に褒めて学級や学年全体で共有する。	